

# 教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	16
科目名	服飾造形	授業期間	前期 後期 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">通年</span>
担当教員名	鹿野 光子	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span>	選択
授業方法	講義 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">演習</span> 実習	授業時間数	288
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	総合的なデザイン力を養い、イメージを具現化するための ハイレベルなパターン力、縫製技術を身につける		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディテールソーイング5種(高級素材、特殊素材の知識と技術)</li> <li>・サマースーツ制作(背抜き仕立てのジャケットとボトムの実物制作)</li> <li>・アパレル企画の授業と連携し、オリジナル企画した作品を実物制作する</li> <li>・卒業制作(3年間の集大成)</li> <li>・自由作品(フォーマルウェア実物制作)</li> </ul>		
授業計画	前期	4月	ディテールソーイング①
		5月	ディテールソーイング② サマースーツ
		6月	ディテールソーイング③ サマースーツ
		7月	ディテールソーイング④ 企画作品
		8月	
		9月	ディテールソーイング⑤ 企画作品 卒業制作
	後期	10月	
		11月	
		12月	▼
		1月	自由作品
		2月	▼
		3月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 実技20% 完成度50%		

# 教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	4
科目名	デザイン画B	授業期間	前期 後期 <b>通年</b>
担当教員名	菅野 一磨	必修	<b>選択</b>
授業方法	講義 <b>演習</b> 実習	授業時間数	72
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標及びテーマ	ファッションデザイン画をポージングで下書きし、素材感が伝わるような塗り方が出来る様にしていく。		
授業の概要	デザイン画の企画、コンテストへの応募、塗りの全体指導と苦手分野の個別指導。		
授業計画	前期	4月	オリジナル商品企画と個別目標の指導
		5月	↓
		6月	↓
		7月	コンテスト作品制作と個別目標の指導
		8月	↓
		9月	↓
	後期	10月	卒業制作用デザイン画指導
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席20% 課題評価 30% 実技50%		

# 教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	1
科目名	服飾造形概論	授業期間	前期 (後期) 通年
担当教員名	門馬 よし子	(必修)	選択
授業方法	(講義) 演習 実習	授業時間数	18
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	洋裁技術検定上級試験合格を目標とする。		
授業の概要	服飾造形概論、高級素材、特殊素材による理論とプロフェッショナルな縫製知識を習得。		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	洋裁技術検定上級問題集使用 解答及び解説①
		11月	洋裁技術検定上級問題集使用 解答及び解説②
		12月	洋裁技術検定上級問題集使用 解答及び解説③ 洋裁技術検定上級模擬テスト①
		1月	洋裁技術検定上級模擬テスト②
		2月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%		

# 教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	4
科目名	デジタルクリエイト	授業期間	前期 後期 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">通年</span>
担当教員名	菅野 一磨		必修 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">選択</span>
授業方法	講義 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">演習</span> 実習	授業時間数	72
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標及びテーマ	i-padを使用し、ネット販売や商品企画に必要なアプリを一通り使えるよう、応用を学ぶ。		
授業の概要	i-padのアプリ、主にプロクリエイトを使用し、画像編集、動画制作、デザイン制作が出来るように実技を踏まえて学ぶ。		
授業計画	前期	4月	授業予定や目標
		5月	デザインとは
		6月	画像編集
		7月	↓
		8月	↓
		9月	動画制作
	後期	10月	↓
		11月	デザイン企画
		12月	↓
		1月	応用実践
		2月	
		3月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%		

# 教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	1
科目名	アパレル企画	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	相田 志		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○ (株)オンワード樫山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤しむ講師がファッション業界の様々な知識を教授する。		
授業の到達目標及びテーマ	誰のために服を作るのか、どうしたら売れるのか？というファッションの原点からターゲット分析、雑誌分析、トレンド分析を行い、トレンド商品の提案を行う。OEM、ODMとの違いを理解する。		
授業の概要	ライフスタイルの多様化により、ターゲットの細分化が進む、現在、何を提案するかを様々な角度から分析する。オリジナルブランドの企画。		
授業計画	前期	4月	ファッションマーケティングの手法を理解する 誰のために服を作るのか？多様化するターゲットを分析する
		5月	商品企画の基本ステップ 情報収集から、ブランドが出来るまでの流れを理解する。
		6月	商品企画のために必要な情報収集 2019SSコレクション情報からトレンドを知る
		7月	ファッションカレンダーと月別MDの基本 ショップリサーチとマトリクス分析からブランド位置づけを決定
		8月	ターゲット企画表の作成、ターゲットイメージマップの作成 2019SSの動向から、次シーズンに何を求めるのかを考える
		9月	オフィシャル・ソーシャル・プライベートにおけるファッション テーマ。テーマ別イメージマップとアイテム企画表。
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%		

# 教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	2
科目名	P検対策	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	宇賀神 美弥子・石川 優希		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○ (株)オンワード樫山にてパタンナーを担当した後、独立、長年婦人服パタンナーとして活躍していた教員が、企業でのパターン、工業用パターンなど総合的に指導し、パターン検定合格を目指す。		
授業の到達目標及びテーマ	パターンメイキング技術検定試験2級（理論・製図・実技）対策授業。その学習の中でアパレル業界で活躍するパタンナーに必要なパターンに関する技術と知識を習得する事を目的とする。		
授業の概要	理論→3級で学んだアパレル企業でのパターン・工業用パターン・グレーディング素材についての応用学習。 製図→縮尺で与えられたデザインの製図を作図する。 実技→テーラーカラー・二枚袖の製図から組み立て（半身）		
授業計画	前期	4月	理論→アパレル企業のパターンメイキング 人体とパターンメイキング・フラットパターンメイキング
		5月	理論→工業用パターン・グレーディング
		6月	理論→素材・縮尺製図 実技→ジャケット製図
		7月	理論・製図→試験 実技→ジャケット製図・組み立て練習
		8月	
		9月	実技→試験
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 実技40% 授業態度10%		

# 教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	1
科目名	服飾造形ワーク	授業期間	前期 (後期) 通年
担当教員名	宇賀神 美弥子		(必修) 選択
授業方法	講義 演習 (実習)	授業時間数	36
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	他授業で与えられる作品の制作課題を完成させる。又は企業の作業現場や展覧会を見学し、作品制作におけるイメージーションを養う。卒業制作にむけて作品制作を行う。		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業制作の実物制作</li> <li>・企画書</li> <li>・プレゼン準備</li> <li>・フォーマルドレス制作</li> </ul>		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作 実物制作
		11月	卒業制作 実物制作・企画書、プレゼン準備
		12月	卒業制作 実物制作・企画書、プレゼン準備
		1月	フォーマルドレス制作（製図）
		2月	フォーマルドレス制作（縫製）
		3月	フォーマルドレス制作（完成）
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準： 出席率80% 授業態度20%		

# 教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	1
科目名	ドレーピング	授業期間	<input checked="" type="radio"/> 前期 後期 通年
担当教員名	宇賀神 美弥子		<input checked="" type="radio"/> 必修 選択
授業方法	講義 <input checked="" type="radio"/> 演習 実習	授業時間数	18
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	各種雑誌、写真等から型紙をおこす。		
授業の概要	立体裁断を通じてシルエット&デザインを表現する。		
授業計画	前期	4月	基本のボトムとトップス
		5月	デザインブラウス
		6月	ジャケット→型紙おこし
		7月	ジャケット
		8月	アンサンブル&スーツ
		9月	デザイン画からドレーピング
	後期	10月	各自自由デザインからドレーピング
		11月	ドレスドレーピング
		12月	雑誌からドレーピング
		1月	各自デザインからドレーピング
		2月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題100%		

# 教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	1
科目名	教育実習	授業期間	前期 後期 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">通年</span>
担当教員名	門馬 よし子		<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> 選択
授業方法	講義 演習 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">実習</span>	授業時間数	30
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	1・2年で学んだ技術を後輩へ指導することで、改めて自らの技術を見直すと共に、コミュニケーション能力を養う。		
授業の概要	1年生のディティールワークのアシスタントとして、補助を行う。		
授業計画	前 期	4月	ピンクッション① 定期ケース① 補助
		5月	ピンクッション② 定期ケース② 補助
		6月	ピンクッション③ 定期ケース③ 補助 脇空きファスナー コンシールファスナー 補助
		7月	定期ケース④ ショールカラー ボタンホールトレーニング① 補助
		8月	
		9月	パッチポケット 玉縁ポケット 補助
	後 期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じてその都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：授業態度50% レポート50%		

# 教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	4
科目名	オープン実習	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	各学科担当者、講師	(必修)	選択
授業方法	講義 演習 (実習)	授業時間数	144
実務教員	○ (株)アングログローバル、日本毛皮教会理事、ミシンメーカー営業、(株)ユニクロ、(株)三越伊勢丹ホールディングス、(株)AZOTH、Ana Dapuzzoデザイナー、Hanaemori Manuscritデザイナー、Keisuke Kandaデザイナー等が特別講師として講義、ワークショップを行う		
授業の到達目標及びテーマ	外部講師を招いての特別講義で社会のニーズと専門知識を学ぶ。学生個々やグループでの作品制作を通じて各自の個性を伸ばし、協調性を養う。学外実習や見学と通じ社会のしくみや繋がりを経験する。		
授業の概要	学外講師を招いての特別講義・ワークショップ 学外実習のための準備と制作 企業や文化施設、展示会等の見学、実習		
授業計画	前期	4月	対面式練習(2年) キャリア開発(2年) 校内企業説明会 コミュニケーション(1年)
		5月	ミシン・ロックミシン講習(1年) 特別教養講座(毛皮)(2年)
		6月	フリーマーケット実習(2年) 東京研修旅行(2年) 卒業生による特別講義Ⅰ
		7月	学校見学会用ファッションショー準備と制作 デザイン研究(デザイン造形学科)
		8月	アートフラワー(デザイン造形学科)
		9月	ファッションセミナー 企業研修(ファッションビジネス学科、アーツ&クラフト学科)
	後期	10月	
		11月	卒業生による特別講義Ⅱ
		12月	フォーマルファッション講座(2・3年)
		1月	ファッションイベント準備と制作
		2月	ファッションイベント本番
		3月	キャリア開発(1年)
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席状況 90% 課題(レポート等)提出状況 10%		

# 教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1		
コース名	デザイン	単 位	2		
科目名	ファッションイベント	授業期間	前期 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">後期</span> 通年		
担当教員名	宇賀神 美弥子		<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> 選択		
授業方法	講義 演習 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">実習</span>	授業時間数	68		
実務教員	×				
授業の到達目標 及びテーマ	縦割り活動であるファッションショー制作を行うことで、他学科の生徒ともコミュニケーションを図り、社会人基礎力に繋げる。主体的に行動する力、コミュニケーション能力を養い、成長に繋げる。				
授業の概要	ファッションショーの制作 演出、モデル、音響、映像、照明、広報、メイク、フィッター等各係に分かれて活動を行う。				
授業計画	前 期	4月			
		5月			
		6月	学校テーマ発表		
		7月			
		8月			
		9月			
	後 期	10月	卒業制作		
		11月			
		12月	卒業制作審査会		
		1月	ファッションショー作品確定 モデル選考、ショー構成、テクニカル打ち合わせ		
		2月	練習、PR ファッションショー本番		
		3月			
		教科書・参考書等			必要に応じて、その都度提示する
		評価方法			A～D・E 評価 評価基準：出席率100%

# 教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1		
コース名	デザイン	単 位	2		
科目名	卒業制作	授業期間	前期 (後期) 通年		
担当教員名	鹿野 光子		(必修) 選択		
授業方法	講義 演習 (実習)	授業時間数	72		
実務教員	×				
授業の到達目標 及びテーマ	3年間の課程で学んだ全科目の集大成として、学内テーマと個人テーマを追求し、創造性やメッセージ性に富んだ作品を作りあげる。				
授業の概要	卒業制作作品のテーマ設定、作品制作、企画書・資料集の作成、プレゼンテーション準備				
授業計画	前期	4月			
		5月			
		6月			
		7月			
		8月	卒業制作 デザイン考案 製図		
		9月	卒業制作 トータル制作 仮縫い 補正 布仮縫		
	後期	10月	卒業制作 本縫い		
		11月	卒業制作 本縫い 付属品の制作		
		12月	卒業制作		
		1月	ファッションイベント準備		
		2月	ファッションイベント準備 発表		
		3月			
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
		評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20% 課題40% 授業態度40%		